

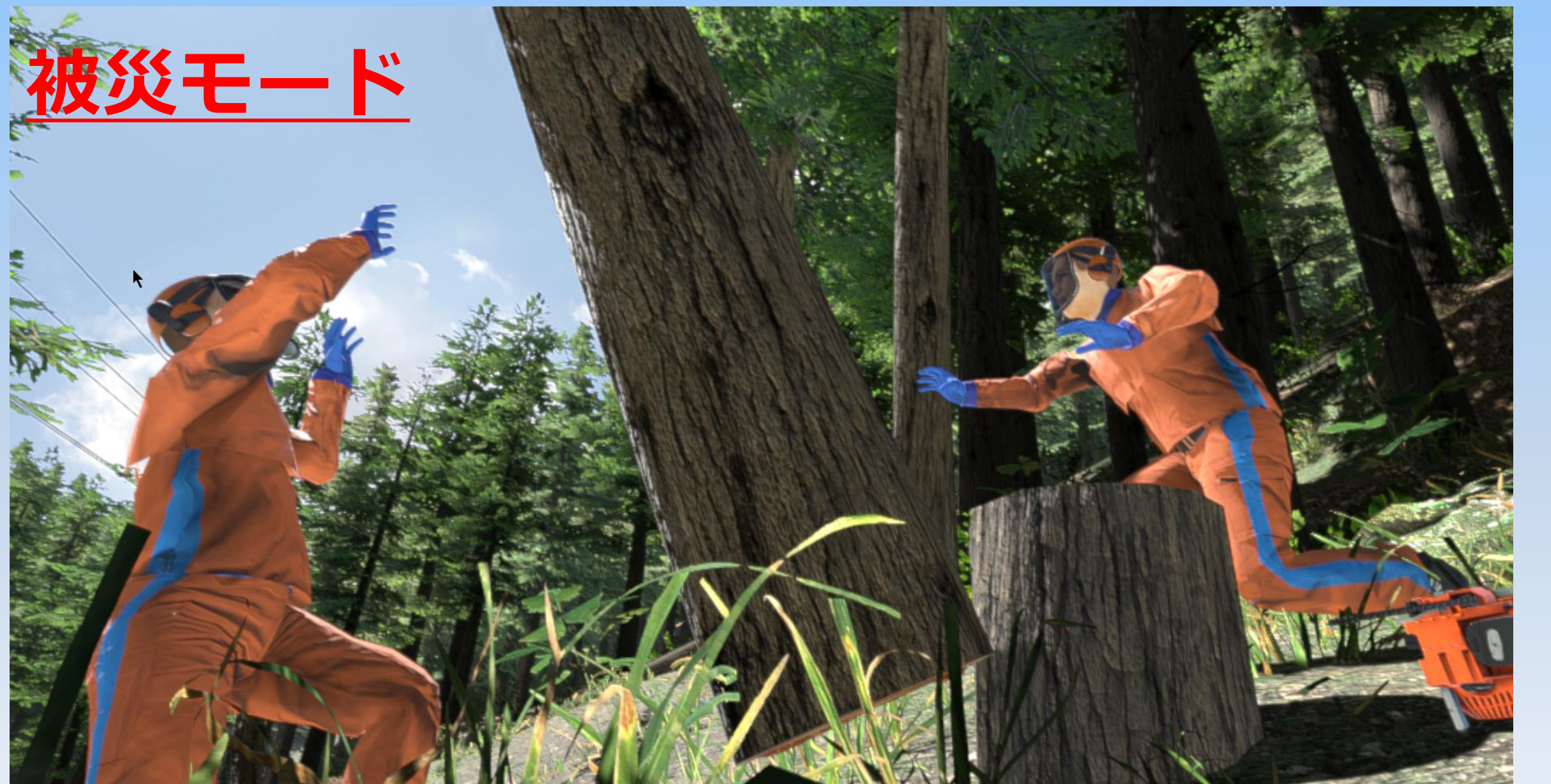


中部電力パワーグリッド

VRコンテンツ開発協力
株式会社 積木製作

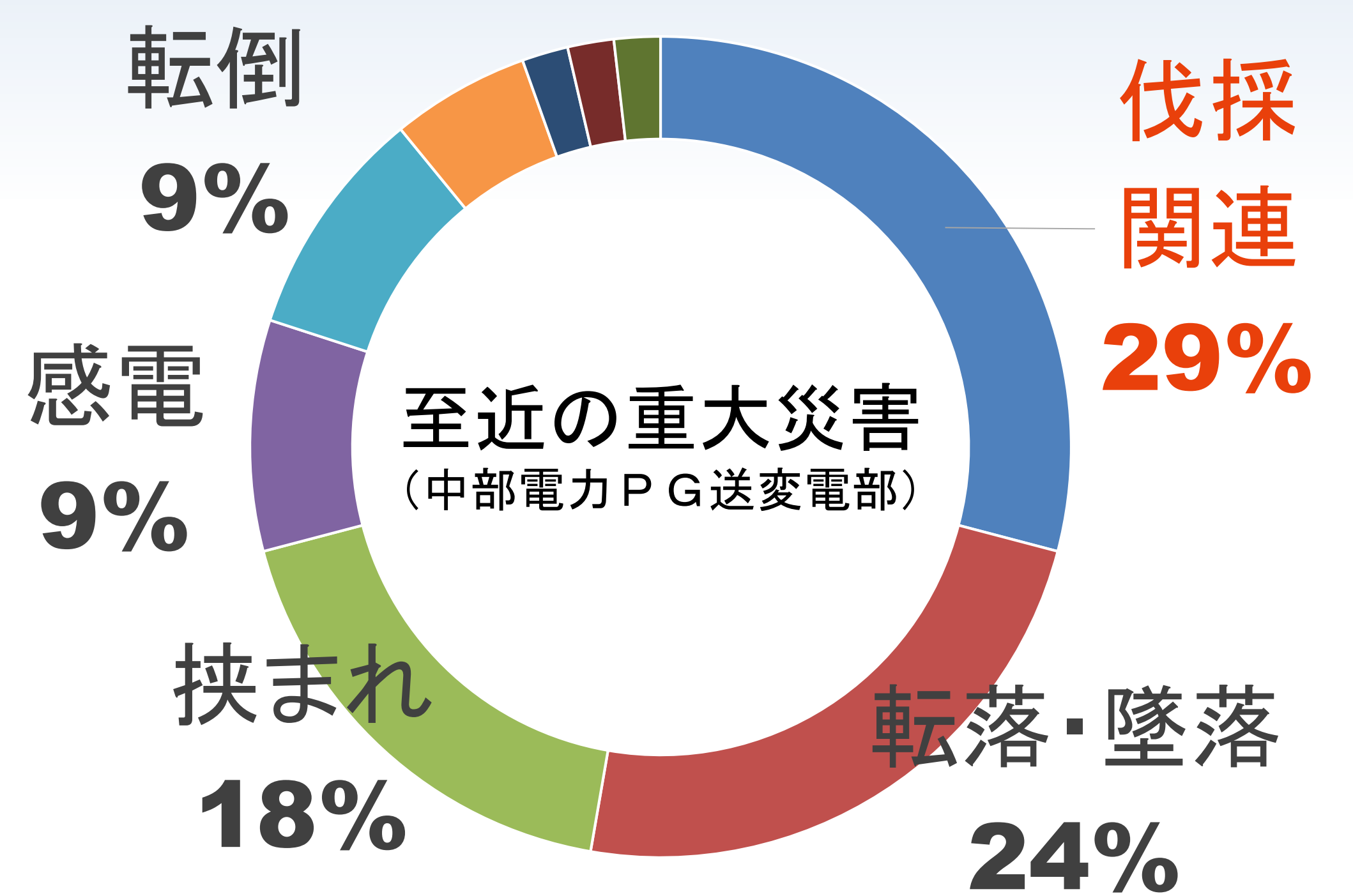
ハイスパックVR

VRを使用して 安全な伐採作業の 習得を目指す



背景・目的

- 送電線の建設工事や保守業務にて行う樹木の伐採作業では毎年多くの労働災害が発生しており、しかも重篤なものが多い。
- 伐採作業での労働災害を無くすため、VR(バーチャルリアリティ)の空間で労働災害を疑似体験して、その恐ろしさを体感したり、安全な伐採作業の標準的な方法を習得する。



特長

- 高性能PCとハイエンドVRヘッドを使用した6DOFデバイス
- あたかも林地にいるような感覚で伐採作業を体感することで学習効果が高い
- 伐採作業の各工程において安全な標準作業が習得可能
- 体感できる作業例: 伐採前の危険箇所把握、伐採方向の決定、適正なチェーンソーの使い方、玉切り・枝払い・集積方法など

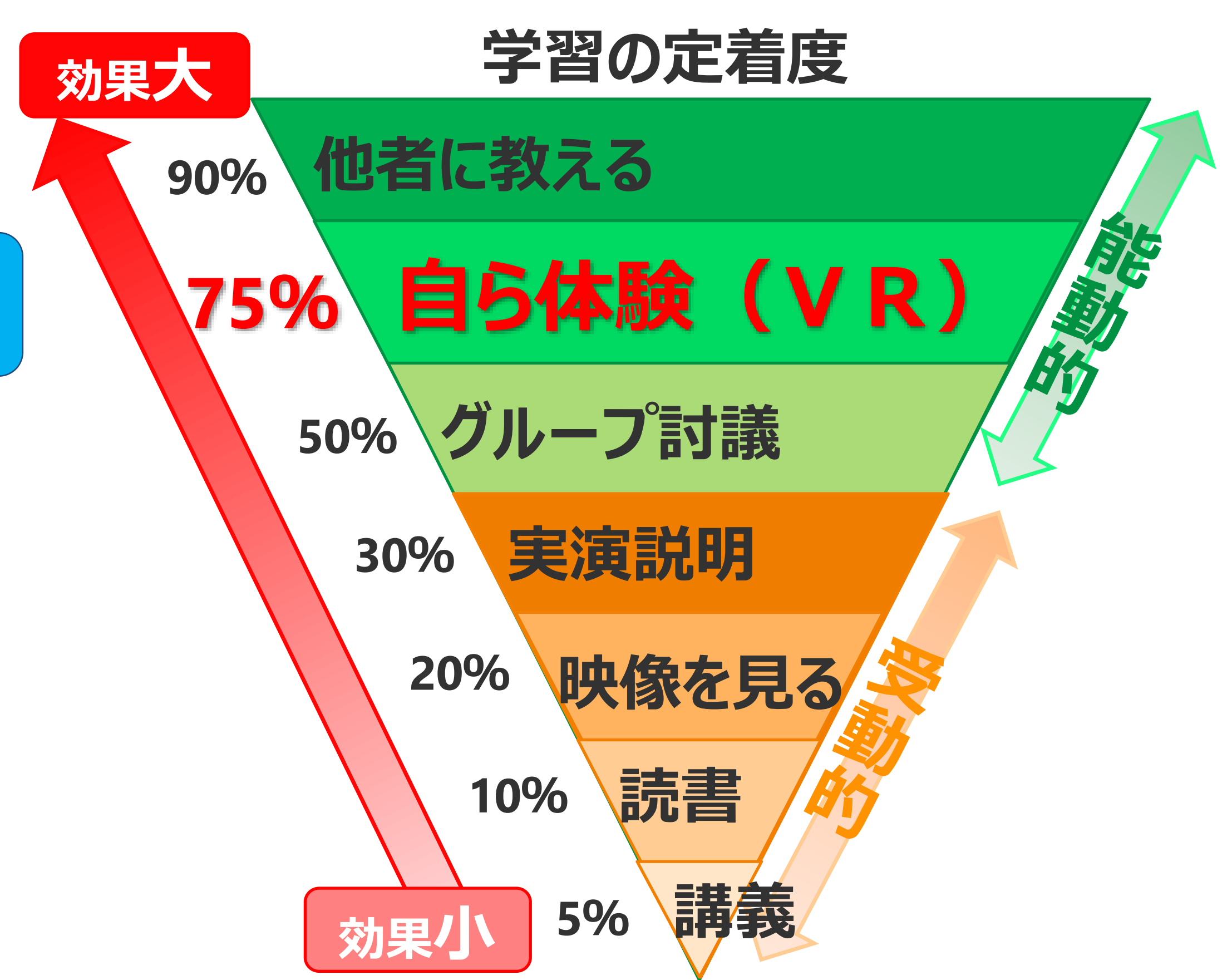
用途

- 中部電力PGの作業管理者への導入教育
- 送電線の伐採作業に従事する監督者、作業者の導入教育

システム構成



体験・体感することで鮮明な記憶が残ります



開発者の ひとこと

チェーンソーの入射角度を表示させたり、安全確認する音声を認識する機能を採用することで、安全な標準作業を分かり易く習得できるように工夫しています。